

KENWOOD

デュアルサイズMD/CDレシーバー

DPX-7000MD

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

Source Selection/Audio Control

Display Control

Function Control

Clock Control

Disc Mode

Tuner Mode

Name Set / SBF

DSP Control

Equalizer Control

● 使いこなし!

ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

● ここさえ読めばひとまずOK!

イージーオペレーション

EZ Operation

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO



External Disc Control

Remote Control

Help ? Operation Help
? Word

Contents

ここを読まなければ操作できない！
この取扱説明書を読むルールが書いてあります。

本書の読みかた

本書の読みかた	4
安全上のご注意	6
使用上のご注意	8
CDとMDの取り扱い	10

ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション

EZ Operation

EZ Operation	12
--------------	----

リモコンでも操作できるゾ！

Remote Control

Remote Control	40
Common Operation	
Tuner Operation	
Disc Operation	
SNPS/DNPS+SFB Operation	
電池の入れかた	

思ったとおりに動作しなかったとき
わからない用語が出てきたら…
困ったときのお助けページ！

Help ? Operation ? Word

Help? Operation	44
Help? Word	49

付録

Appendices

取り付け時のご注意	52
接続	54
取り付け	56
保証とアフターサービス	58
仕様一覧	59

使いこなし! ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

Source Selection	14
ソース選択	
Audio Control	14
オーディオコントロール	
Display Control	15
操作パネル角度調節	
ディスプレイ表示切り替え	
Function Control	16
ファンクションセット	
セキュリティコード	
Clock Control	19
時刻調整	
Disc Mode	20
トラックサーチ	
マニュアルサーチ	
トラックリピートプレイ	
トラックスキッププレイ	
トラックランダムプレイ	
ディスプレイ表示切り替え	
タイトル/テキストスクロール	
Tuner Mode	22
バンド切り替え	
チューニング	
オートメモリー	
マニュアルメモリー	
プリセットチューニング	
ディスプレイ表示切り替え	
Name Set / SFB	24
SNPS (ステーションネームプリセット)	
DNPS (ディスクネームプリセット)	
SFB (セレクトバイファイル)	
DSP Control	28
DSPシステム	
サウンドフィールドの選択	
SFCとDBBの調整	
コンプレッションの調整	
ポジションの選択	
ルームサイズの選択	
ユーザー設定のメモリー	
ユーザー設定の呼び出し	
Equalizer Control	32
イコライザーカーブの選択	
イコライザーカーブの調整	
ユーザー設定のメモリー	
ユーザー設定の呼び出し	
アナライザーの切り替え	

オプションも使いこなそう！ オプションズ

Options

External Disc Control36

- ディスクサーチ
- トラックサーチ
- マニュアルサーチ
- トラック/ディスクリピートプレイ
- トラックスキャンプレイ
- ディスクスキャンプレイ
- トラックランダムプレイ
- マガジンランダムプレイ
- ディスプレイ表示切り替え
- タイトル/テキストスクロール

Functional
Operation

Source Selection/Audio Control

Display Control

Function Control

Clock Control

Disc Mode

Tuner Mode

Name Set / SBF

DSP Control

Equalizer Control

EZ
Operation

External Disc Control

Remote Control

Help

本書の読みかた

この取扱説明書では、本機の使いかたや別売品を大きく次の3つのブロックに分けて説明しています。

ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション

EZ Operation

すぐに使いたいかたのために、必要最小限の機能をできるだけ簡単に説明しています。

ここだけ読めば、とりえずお使いいただけます。

使いこなし! ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

EZ Operationを習得したらここへ。

すべての機能をステップバイステップで説明しています。ここを読めば、十分に使いこなすことができます。

オプションも使いこなそう! オプションズ

Options

本機に接続できる別売品のすべての機能の使いかたを説明しています。

別売品を接続しているときにお読みください。

Help

? Operation

思ったとおりに動作しなかったときの原因と対策を説明しています。

? Word

マニュアルやディスプレイに表示される用語を解説しています。

これらのほかに、リモコンによる操作を説明した [Remote Control]、本機の取り付け方法などを説明した [Appendices] があります。

- 取扱説明書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は操作説明を円滑に行うための表示例です。
- このため、実際の機器とは異なることや、実際にはありえない表示パターンが記載されていることがあります。

本文でのマークについて



共通の操作

ソースにかかわらず共通の操作を表しています。



ディスクの操作

MDまたはCDをプレイする操作を表しています。なお、この取扱説明書では、MDとCDをまとめて「ディスク」と呼んでいます。



チューナーの操作

FM/AM放送を受信する操作を表しています。



注意

ケガなどを防ぐための大切な注意事項を表しています。



メモ

本機の損傷を防ぐための注意事項を表しています。また、機能・使用方法の制限や使いかたのアドバイスも表しています。

短かく押す

ボタンをチョンと押すことを表します。



1秒以上押す

1秒以上（メモリーに書き込むときは2秒以上）押す操作を表しています。

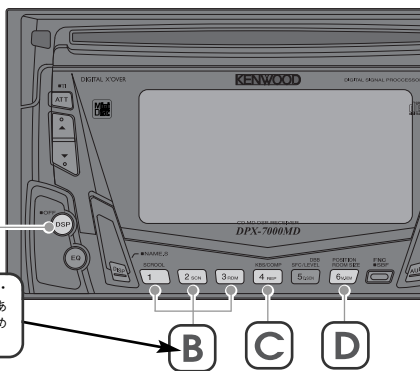


動作が始まるまで、または画面の表示が変わるまでボタンを押し続けることを表します。

通常、1秒間押します。また、メモリーに書き込むときには2秒間押します。押す秒数は矢印の中の表示を目安にできます。

DSP Control

Functional Operation



A
この辺ボタンABC…
操作するボタンがどこにあるのか…、位置を表すためのマークです。

コンプレッションの調整

ダイナミックレンジを圧縮（コンプレッション）して、車内で小さな音を聴きやすくします。

1 DSP調整モードにします

A



CODE STBY

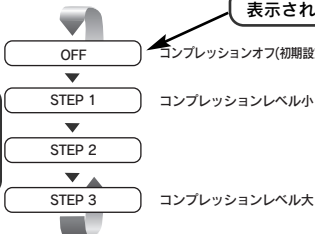
2 コンプレッションレベル

C



ディスプレイ表示
このディスプレイが表示されるまでボタンを押すことを表します。

押すたびに次の順で切り替わります。



ディスプレイ表示スクロール
ボタンを押すたびに切り替わるモードや表示を表します。

表示される文字/内容

内容の説明

ポジショ...

1 DSP

A

2 ポジ:

D

押すた

Functional Operation

Source Selection/Audio Control

Display Control

Function Control

Clock Control

Disc Mode

Tuner Mode

Name Set / SBF

DSP Control

Equalizer Control

EZ Operation

External Disc Control

Remote Control

Help

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」
をご使用の前によくお読みください。

絵表示について：

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



実施

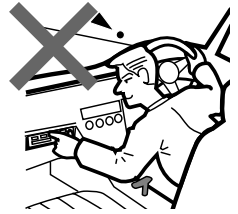
●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守り下さい。



警告



実施

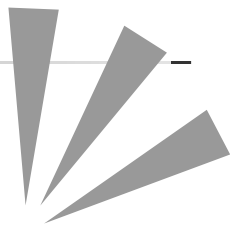
運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

●音量調節などのカーオーディオの操作



実施

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



⚠ 注意

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする



禁止

修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。

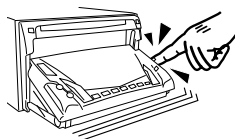


禁止

製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。



禁止



操作パネル部の開閉中には、手や指を近づけないでください。挟まれてケガをすることがあります。



禁止



カセットテープ挿入口やディスク挿入口に手や指を入れないでください。ケガをすることがあります。



禁止

製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。



禁止

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。

使用上のご注意

本機に接続できる

ディスクチェンジャーについて

KDC-C310, KDC-C306, KDC-C210, KDC-C206, KDC-C110, KDC-C106, KDC-C11, KDC-C10, KMD-C30, およびKMD-C80は直接接続することができます。

KDC-C200, KDC-C300, KDC-C301, KDC-C50、またはKDC-C55を接続するときは、別売品の"CA-DS100"が必要です。別途お買い求めください。また、C705i, C705sr, MD6, MD66を接続するときは、別売品の"CA-KD20"が必要です。別途お買い求めください。

なお、"CA-DS100"または"CA-KD20"を使いディスクチェンジャーを接続した場合には、使用できない機能（マガジンランダムなど）が発生します。

CD/MDチェンジャースイッチングユニットKCA-S210A/S200を使用するとディスクチェンジャーを2台まで接続することができます。接続など詳しい説明はKCA-S210A/S200に付属の取扱説明書をご覧ください。

KDC-C310, KDC-C306, KDC-C210, KDC-C206, またはKMD-C30を接続した場合、これらのディスクチェンジャーの“O-Nスイッチ”は“N”側に設定してください。また、上記CDチェンジャー以外ではCDテキスト表示を行えません。

本機のDNPS機能はディスクチェンジャーに内蔵の記憶機能を使用するのではなく本機内部の記憶機能を使用します。このため、ディスクチェンジャーに記載されているDNPS可能枚数とは関係なく、すべてのディスク合計で50枚まで記憶することができます。

上記以外のケンウッド製ディスクチェンジャー、および他社製のディスクチェンジャーは、本機に接続することはできません。接続すると破損や故障の原因となります。

接続している機種により、使用できる機能や表示できる情報が異なる場合があります。

取り付け時の注意

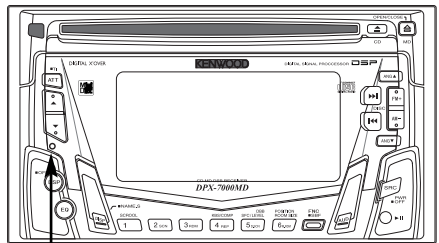
直射日光のあたる場所、熱風のあたる場所、水のかかる場所、しっかりした取り付けのできない場所、振動の多い場所には設置しないでください。

セットのお手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でからぶきしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものできくと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

セットの異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まずHelp(p.44)を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、本機のリセットボタンをペン先などで押してください。



リセットボタン

リセットボタンを押しても正常に戻らないときや、下記のような場合は、本機の電源をオフにして、購入店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。

- MDやCDが取り出せない。
- MDやCDを正しく入れ直してもボタンやインジケーターの点滅が続く。
- ディスクチェンジャーモードを接続しているのにディスクチェンジャーモードにならずに“Aux Mode”と表示される。
- KCA-S210Aが接続されていないときに“Aux Mode”と表示される。

リモコンの電池について

操作できる距離が短くなったり、なかなか動作しない場合は、乾電池が消耗していることが考えられます。このような場合は、2個とも新しい乾電池と交換してください。新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用すると、液漏れなどによる故障の原因になります。

●
電池を充電、ショート、分解、加熱したり、火の中に入れてたりしないでください。液漏れを起こす危険があります。液漏れを起こし、目に入ったり、皮膚や衣類に付着したときは、すぐに水で洗い流し、すぐに医師に相談してください。また、電池は子供の手の届かないところに置き、万一飲み込んだときは、すぐに医師に相談してください。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではMDやCDの読み取りができなくなります。

このようなときは、MDやCDを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店またはケンウッドサービスセンターへ連絡してください。

温度について

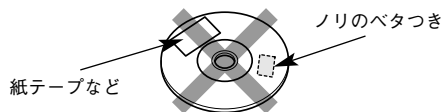
直射日光下で窓を開めきっていると、自動車内は非常に高温になります。

本機内部が60℃を越える高温になると、保護回路が働いてMDやCDの演奏ができなくなります。このようなときは、車内の温度を下げてください。保護回路機能が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときはリセットボタンを押してください。

使用できないCD

記録面や、レーベルが印刷されている面に紙テープなどを貼らないでください。

CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどのノリがはみ出したり、はがした痕があるものはお使いにならないでください。そのままCDプレーヤーにかけるとCDが取り出せなくなったり、故障することがあります。



●
特殊な形状のCDは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のCDを使用すると故障の原因になります。



●
記録面（レーベル面の反対側）が着色してあるものや汚れているCDは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。

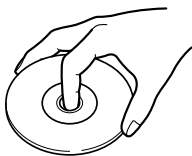
●
DISC DIGITAL AUDIO マークの付いているCD以外は使用しないでください。

●
レーベル面にシールの貼ってあるCDを使用すると、CDが変形したり、シールがはがれることがあります。本機の故障の原因となることもあるため、レーベル面にシールの貼ってあるCDは使用しないでください。

CDとMDの取り扱い

CDの取り扱いについて

CDの汚れや、ゴミ、キズ、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。取り扱いは記録面に触れないようにします。(レーベルが印刷されていない面が記録面です。)



CDの保存

直射日光があたる場所(シートやダッシュボードの上)など、温度が高い場所には置かないでください。

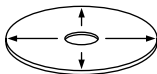
長期間演奏しないときは、本機からCDを取り出して、ケースに入れて保管してください。

キズ、汚れ、反りの原因になりますので、ケースに入れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保存しないでください。

CDのお手入れ

CDが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。

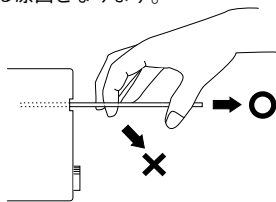
従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。



CDの取り出しかた

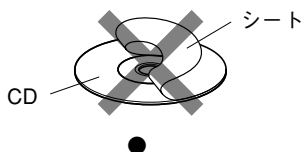
本機からCDを取り出すときは水平方向に引き出してください。

下側に強く押しながらかき出すとCDの記録面に傷を付ける原因となります。



CD用アクセサリーについて

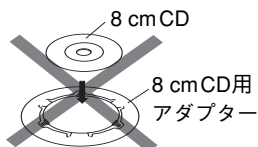
音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー(スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど)は故障の原因となりますので使用しないでください。



市販の8cmCD用のアダプターも使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

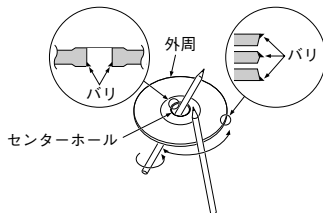
本機で8cmCDを使用する際にアダプターは必要ありません。

また、接続するCDチェンジャーで8cmCDを使用する場合は別売の8cmCD用マガジンをご使用ください。



新しいCDを使うときは

新しいCDを使うときは、CDのセンターホールや外周部に"バリ"がないことを確認してください。"バリ"がついたまま使用すると、CDが挿入できなかったり音飛びの原因になります。"バリ"があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。



MDのお手入れ

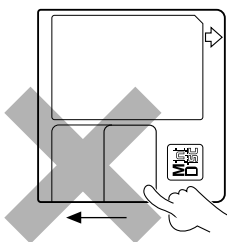
カートリッジ表面の汚れや、ゴミは乾いた布でふき取ってから使用してください。特に油污れが付いた状態で使用しますと、ディスクがローディングされなかったり、取り出せなくなることがあります。

また、お手入れされるときは、シャッターを開かないようご注意ください。

MDのシャッターについて

MDのシャッターは開けられないようになっています。無理に開けるとカートリッジが破損して使用できなくなります。

シャッターが何らかの原因で開いてしまったときには、記録部分を指で触らないようにしてください。記録部分に触れると使用できなくなったり、音飛びを頻繁に起こすようになります。

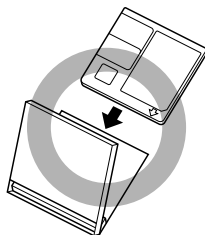


ラベルのはがれかかったMDは

ラベルのはがれかかったMDは使用しないでください。ラベルが浮いていたり、はがれかかっているMDを使用すると、本機の中ではがれて取り出せなくなるなど故障の原因となります。

保管について

MDを長時間本機に入れたままにしないでください。また、取り出したMDは、MD専用ケースに入れて保管してください。

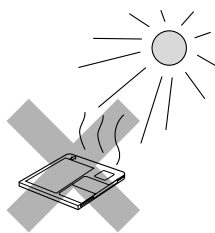


データ用のMDについて

データ用のMDは使用できません。音楽用のMDを使用してください。

高温に注意

MDを直射日光の当たる場所（ダッシュボードの上など）など温度が高くなるような場所に放置しないでください。MDのカートリッジが変形して使用できなくなります。



レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。故障の原因となります。

ディスクのプレイは簡単！ ディスクを差し込むだけです。



プレイする曲を選びます。



受信する放送局を選びます。

AUTOインジケーターが点灯時は受信状態の良い放送局を自動的に選択できます。AUTOインジケーターが消えているときは周波数が1ステップ変わります。(ファンクションセット※16ページ)



交通情報の周波数を選びます。



CDをプレイするときは…

プレイするディスクを差し込みます。



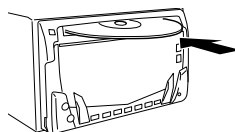
CDを取り出すときは…

[EJECT]を押します。

CDがイジェクトされます。



CDがイジェクトされないときは、CDが出るまで[EJECT]を押し続けてください。



音量を素早く下げます。

もう一度押すと元の音量に戻ります。



1秒以上押すと、交通情報を受信します。

もう一度1秒以上押すと元に戻ります。



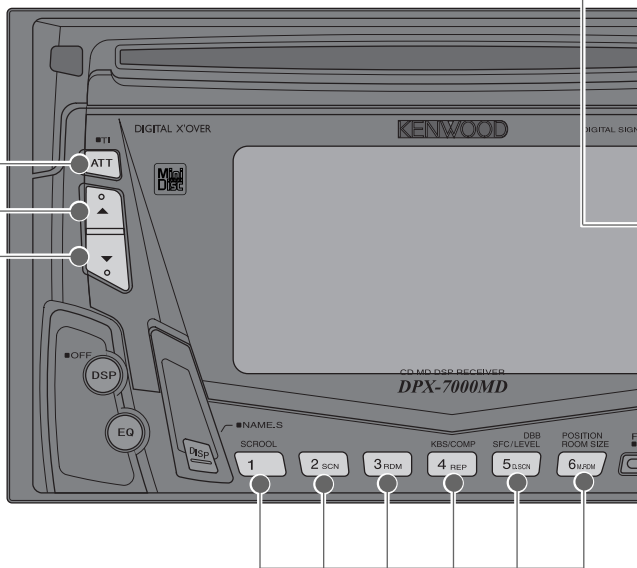
音量を上げます。



音量を下げます。



- 安全のため、周囲の音が聞こえる音量でお聴きください。
- 操作パネルを開いたときにシフトレバーなどに干渉する場合は、安全に注意してシフトレバーを動かしてください。



メモリーされている放送局を受信します。

2秒以上押すと、受信中の放送局をボタンにメモリーします。



ディスクの操作



チューナーの操作



共通の操作



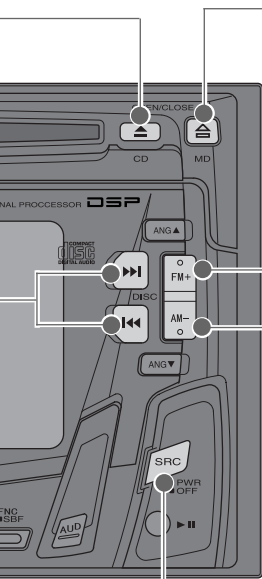
MDをプレイするときは…

Ⓜを押して操作パネルをスライドさせ、プレイするMDを差し込みます。MDが引き込まれ、パネルが閉まります。



MDを取り出すときは…

Ⓜを押します。操作パネルがスライドして、MDがイジェクトされます。Ⓜをもう一度押すとパネルは閉じます。



FM放送のバンド (FM1/FM2) を切り替えます。



AM放送のバンド (AM1/AM2) を切り替えます。



MD/CDのプレイとFM/AM放送を切り替えます。

ディスクが入っているときに押すと、MD、CD、FM/AM放送、ALL OFFが切り替わります。



電源をオン/オフします。

押すと電源がオンになります。1秒以上押すと、電源がオフになります。

Source Selection/Audio Control

Display Control

Function Control

Clock Control

Disc Mode

Tuner Mode

Name Set / SBF

DSP Control

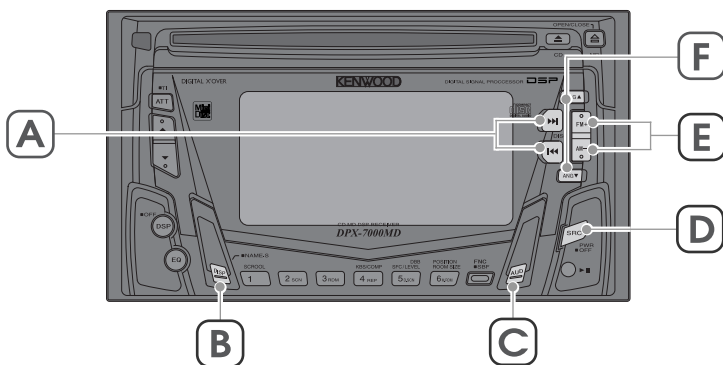
Equalizer Control

External Disc Control

Remote Control

Help

Source Selection / Audio Control

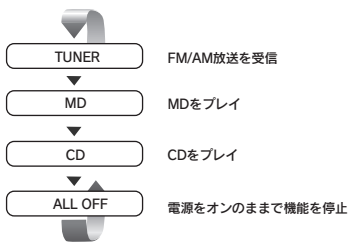


ソース選択

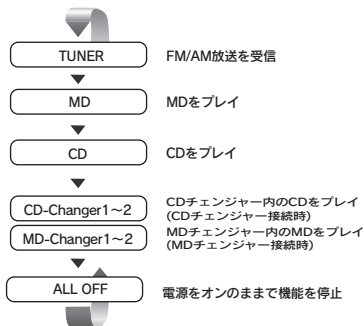
プレイするソースを切り替えます。



押すたびに次の順で切り替わります。



別売品のユニットが接続されているときには、次の順で切り替わります



オーディオコントロール

音量バランスなどを設定します。

1 オーディオコントロールをオンにします

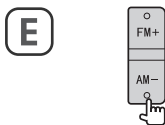


オーディオコントロールはALL OFFモード以外のモード中に設定できます。

2 設定する項目を選択します



3 値を選択します



“N-F”設定はファンクションセットの“Preout”項目が“N-F”に設定されているときに選択できます。

プレイするソースを選びます。
また、音量バランスなどを調節します。

設定できる項目と値は次のとおりです

設定項目	設定値
Balance (左右の音量バランス)	L15~R15
Fader (前後の音量バランス)	F15~R15
N-F (ノンフェーダー リアウト出力レベル)	----~+10

4 オーディオコントロールをオフにします



操作パネル角度調節

操作パネルを見やすい角度に調整します。



押すたびに、操作パネルが1ステップずつ20段階にスライドします。

- 電源をOFFにするとパネルは閉じた状態になります。再び電源をONにすると調節した角度になります。

ディスプレイ表示切り替え

ALL OFFモード時にディスプレイへ表示される情報を切り替えます。

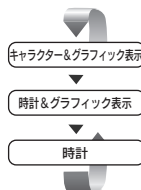
1 ALL OFFモードにします



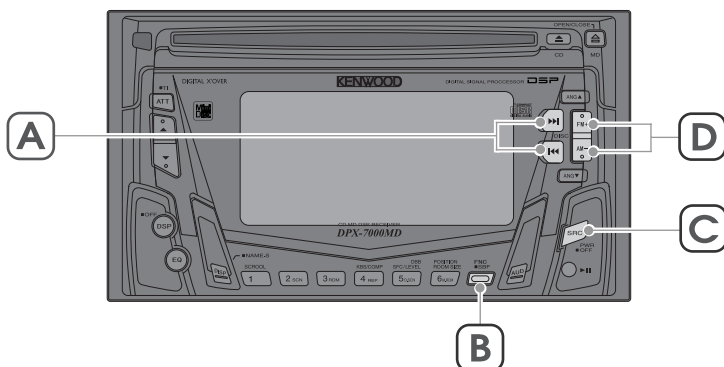
2 表示を選びます



押すたびに次の順で切り替わります。



Function Control



ファンクションセット

操作時のビープ音などの各種の機能を設定します。

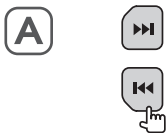
1 設定する項目があるモードにします



2 ファンクションセットモードにします



3 設定する項目を選択します



- 設定項目の詳しい機能説明はHelp(P.48)を参照してください。
- 右表の“条件”の内容が満たされていないと、その項目の表示・設定は行えません。

4 値を選択します



5 ファンクションセットモードを終了します



設定できる項目と値は次のとおりです。

ALL OFFモード時

設定項目	設定値	条件
BEEP (ビープ音)	On/Off	—
Preout (プリアウト出力選択)	Rear/N-F	—
BRIGHT (ライトスイッチがオンのときのディスプレイの明るさ)	01~04~13	車両のライトスイッチがON後にファンクションセットモードにする
D.X'over (デジタルクロスオーバーシステム)	On/Off	—
Amp Cont (外部アンプコントロール)	On/Off	—
Opening (電源オン時に“DPX”を表示)	On/Off	—
CODE STBY (セキュリティコードの登録モード)	登録の方法は18ページをご覧ください。	セキュリティコードが未設定時

(太字は初期設定値)

本機の各種の機能を設定します。

TUNER/MD/CD/Changerモード時

設定項目	設定値	条件
HPF-F (フロント低音カット)	OFF/30/60/90/120 /150/180/250(Hz)	D.X'over"On" 時
HPF-R (リア低音カット)	OFF/30/60/90/120 /150/180/250(Hz)	D.X'over"On" 時
HPF Slope (低音カットスロープ)	12/18/24 (dB/Oct.)	D.X'over"On" 時
LPF (ノンフェーダー高音 カット)	OFF/150/120/100/ 80/60(Hz)	D.X'over"On"、 PREOUT"N-F" 時
LPF Slope (高音カットスロープ)	12/18/24 (dB/Oct.)	D.X'over"On"、 PREOUT"N-F" 時
T-Alg F (フロント遅延時間)	OFF/0.5~18 (msec.)	D.X'over"On" 時
T-Alg R (リア遅延時間)	OFF/0.5~18 (msec.)	D.X'over"On" 時
T-Alg NF (ノンフェーダー遅延時間)	OFF/0.5~18 (msec.)	D.X'over"On"、 PREOUT"N-F" 時
Amp Cont (外部アンプコント ロール設定)	1 (フラット) 2 (+6 dB) / 3 (+12 dB)	ALL OFFモード のAmp Cont"On" 時

(太字は初期設定値)

TUNERモード時のみ

設定項目	設定値	条件
Seek (チューニングモード)	Auto/Manual	—
MONO (FM放送モノ ラルチューニング)	On/Off	FM放送受信 時
AME Ready (オートメモリー)	登録の方法は 22ページをご 覧ください。	—

(太字は初期設定値)

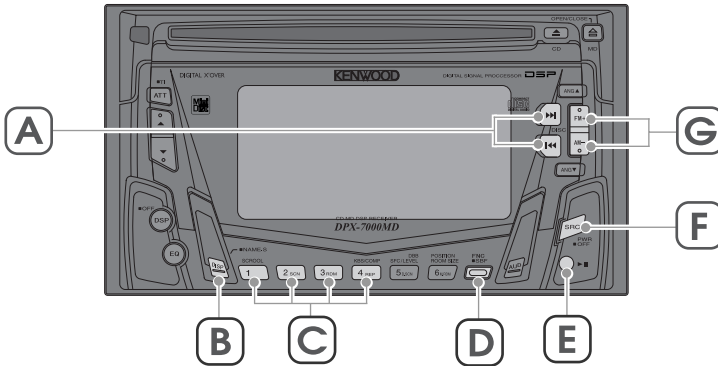
MD/CD/Changerモード時のみ

設定項目	設定値	条件
AT.SCRL (ディスクタイトル/ CDテキストオート スクロール)	On/Off	チェンジャー のO-Nスイッ チが"N"に設 定時

(太字は初期設定値)

● MDプレイ時とCDプレイ時のそれぞれで設定が可能です。

Function Control / Clock Control



セキュリティコード

暗証番号を登録することにより盗難を抑制します。

設定したセキュリティコードは変更・削除はできません。また、機能の解除もできません。コードは忘れないようにメモを取るなどしてください。

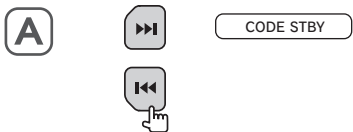
1 ALL OFFモードにします



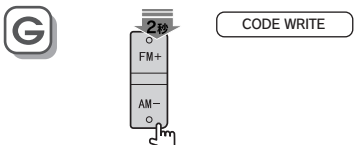
2 ファンクションセットモードにします



3 セキュリティコード項目を選択します

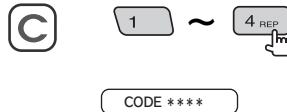


4 セキュリティコード入力を開始します



FMボタンまたはAMボタンを“CODE WRITE”と表示されるまで押し続けます。

5 セキュリティコードを入力します



例：3510の場合

ボタン	1	2 SON	3 NEW	4 REP
押し回数	4	6	2	1
表示	3	5	1	0

6 セキュリティコードを登録します



7 セキュリティコードを再入力します

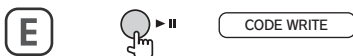


確認のためセキュリティコードを手順4の方法で再度入力します。

手順4と違うコードを入力すると、手順4の1回目のセキュリティコードの入力に戻ります。

セキュリティコードを設定して本機をバッテリーから外すと、次に使うときは設定したセキュリティコードを入力しないと電源がオンできないようになり、盗難防止の手助けとなります。

8 セキュリティコードを再登録します



セキュリティコードの登録が完了後に、リセットボタンを押したり、本機をバッテリーの接続から外すと、登録したセキュリティコードの入力が必要になります。詳しくは以下をご覧ください。

リセットボタンを押したり、本機をバッテリーから外してから最初に使うときは・・・

1 セキュリティコードを入力します



2 セキュリティコードを確定します



本機が使用可能となります。

セキュリティコードを登録したときと違うコードで入力すると電源が自動的にオフになります。このようなときは、再び電源をオンしてから再度セキュリティコードを入力してください。

時刻調整

時計表示の時刻を合わせます。

1 時計表示を選びます



2 時刻合わせを開始します



インジケーターが点滅するまで押し続けます。

3 “時” を合わせます



4 “分” を合わせます

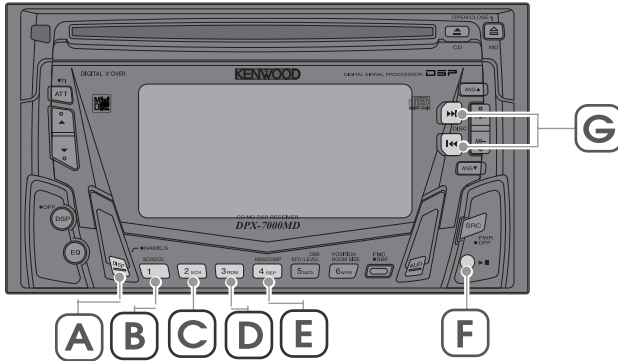


5 時刻合わせを終了します



00秒からカウントがスタートします。

Disc Mode



トラックサーチ

順に曲を選びます。



押すたびに、次の曲、または現在プレイ中の曲の先頭/前の曲へトラックサーチします。

マニュアルサーチ

現在プレイ中の曲を早送り/早戻しします。



ボタンを押している間だけ、早送り/早戻しされます。

ポーズ

現在プレイ中の曲を一時停止します。



もう一度押すとプレイを再開します。

トラックリピートプレイ

現在聴いている曲を繰り返しプレイします。



押すたびに、トラックリピートプレイがオン/オフされます。

トラックスキャンプレイ

ディスク内の各曲の先頭部分を10秒間ずつプレイして曲を探ることができます。

1 トラックスキャンプレイを開始します



2 聴きたい曲のところで...



その曲からプレイされます。
●"▶"を押してもプレイされます。

● すべてのトラックがスキャンされると、トラックスキャンは、自動的に終了します。

MDやCDをいろいろにプレイします。
基本的なMDとCDのプレイ方法はEZ Operationで習得できます。

トラックランダムプレイ

現在のディスク内の曲をランダムな順でプレイします。



押すたびに、トラックランダムプレイがオン/オフされます。

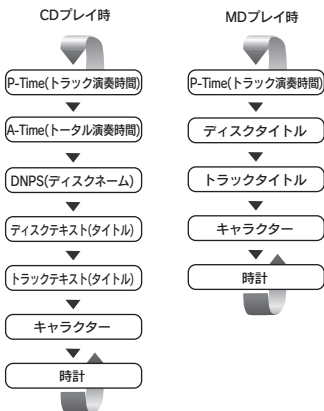
! を押すと、次の曲の選択を開始します。

ディスプレイ表示切り替え

ディスプレイに表示される情報を切り替えます。



押すたびに次の順で切り替わります。



タイトル/テキストスクロール

ディスクタイトルやCDテキストをスクロール表示します。

1 ディスクタイトル/トラックタイトルにします



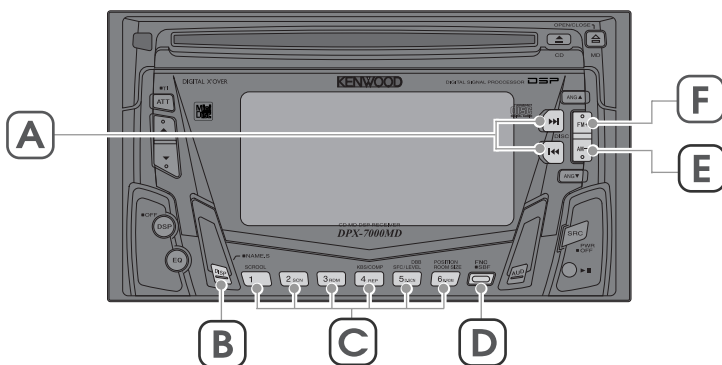
2 スクロール表示します



ディスクタイトル/CDテキスト表示が1回スクロールします。

! ファンクションセットのAT.SCRL項目がOffに設定されているときでも、この方法でスクロール表示することができます。

Tuner Mode



バンド切り替え

FM1とFM2を切り替えます



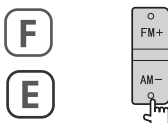
AM1とAM2を切り替えます



チューニング

受信する放送局を選びます。

1 バンドを選びます



2 放送局を選びます



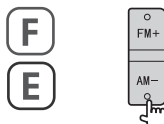
チューニングモードがAutoのとき
(AUTOインジケータが点灯しています)
受信状態の良い放送局を自動的に選びます。

チューニングモードがManualのとき
押すたびに、周波数が1ステップずつ変わります。
(AutoとManualの切り替え方法は“ファンクション
セット” 16ページ)

オートメモリー

受信状態の良い放送局を自動的に選んでメモリー
します。

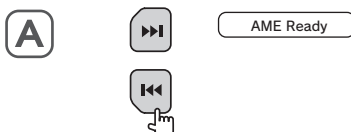
1 バンドを選びます



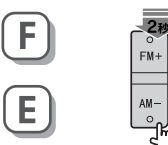
2 ファンクションセットモードにします



3 オートメモリー項目を選択します



4 オートメモリーを開始します



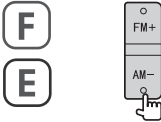
FMボタンまたはAMボタンを周波数表示に
なるまで押し続けます。
6局メモリーするか、周波数を一周すると
自動的にオートメモリーは終了します。

FM/AM放送を受信できます。
また、各バンドごとに6局までの放送局をメモリーしておくこともできます。

マニュアルメモリー

受信中の放送局をメモリーします。

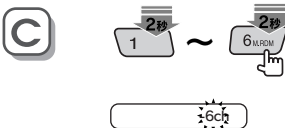
1 バンドを選びます



2 放送局を選びます



3 メモリーするボタン(1~6のいずれか)を選びます

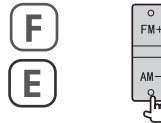


ボタンナンバー表示が1回点滅するまで押し続けます。

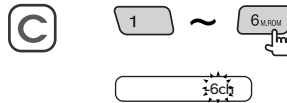
プリセットチューニング

メモリーボタン(1~6)にメモリーされている放送局を受信します。

1 バンドを選びます



2 メモリーボタン(1~6のいずれか)を選びます

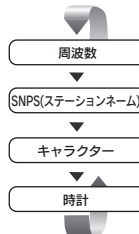


ディスプレイ表示切り替え

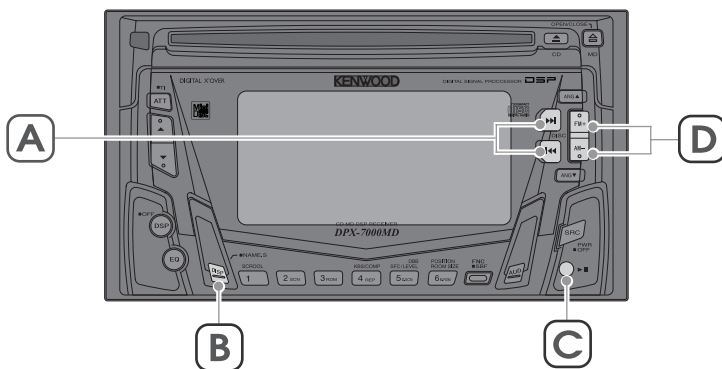
ディスプレイに表示される情報を切り替えます。



押すたびに次の順で切り替わります。



Name Set/SBF Mode



SNPS (ステーションネームプリセット)

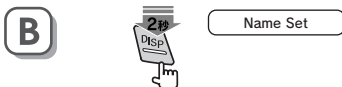
FM/AM放送局に名前を付けます。
FM/AM放送局に合わせて30局までステーションネームをセットできます。

1 放送局を選びます

22ページを参照してください。

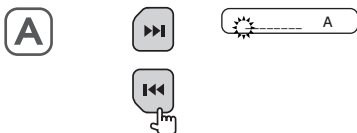
● 時計表示中はSNPSは行えません。時計以外の表示を選択しておいてください。

2 SNPSを開始します



“Name Set”と表示されるまで押し続けます。

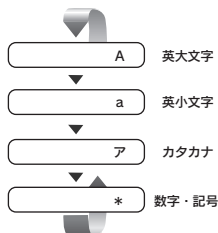
3 文字を入力する位置にカーソルを移動します



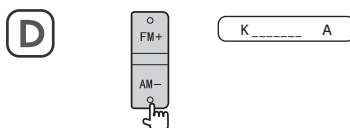
4 文字の種類を選びます



押すたびに次の順で切り替わります。



5 文字を選びます



6 3~5を繰り返して、すべての文字を入力します

7 SNPSを終了します



- 10秒間操作を中断すると、その時点で名前が確定されます。
- 名前は8文字まで登録できます。
- バッテリーから外すとSNPSは消去されます。

FM/AM放送局やCDに名前を付けて表示させることができます (SNPS/DNPS)。

ディスクタイトル、DNPS、SNPSでディスクや放送局を選択することもできます (SBF)。

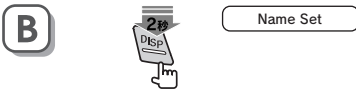
DNPS (ディスクネームプリセット)

CDやMDに名前を付けます。本機のCDプレーヤーと別売品のディスクチェンジャーを合わせて50枚までディスクネームをセットできます。

1 名前を付けるディスクをプレイします

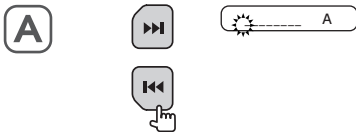
- 時計表示中はDNPSは行えません。時計以外の表示を選択しておいてください。

2 DNPSを開始します

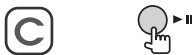


“Name Set”と表示されるまで押し続けます。

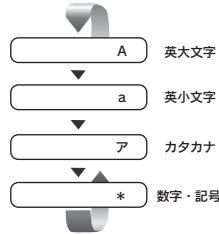
3 文字を入力する位置にカーソルを移動します



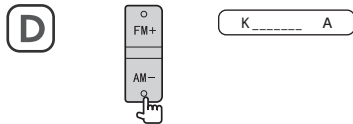
4 文字の種類を選びます



押すたびに次の順で切り替わります。



5 文字を選びます



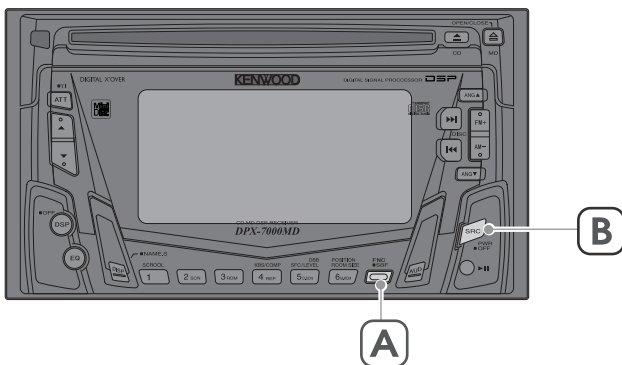
6 3~5を繰り返して、すべての文字を入力します

7 DNPSを終了します



- 10秒間操作を中断すると、その時点で名前が確定されます。
- ディスクはトラック数 (曲数) と総録音時間で識別されます。このため、これらが同じディスクの場合には識別できません。
- 名前は8文字まで登録できます。
- バッテリーから外すとDNPSは消去されます。

Name Set/SBF Mode



チューナー-SBF (セレクトバイファイル)
 メモリーボタンに記憶されているFM/AM放送局
 を名前で選択できます。

1 チューナーモードにします



2 SBFを開始します



“SBF SNPS”と表示されるまで押し続けます。
 メモリーボタンに記憶されている放送局名
 が5秒間ずつ次々と表示されます。

3 聴きたい放送局が表示されたら…



表示中の放送局の受信をします。

- **MM** または **FM** でFM/AM放送局名を早送り/早戻しできます。
- **FM+** でFM1/2バンドにメモリーされている放送局名に、**AM-** でAM1/2バンドにメモリーされている放送局名に切り替わります。
- SNPSで名前が登録されていない放送局は周波数が表示されます。

SBFを中止するときは…



1秒以上押すと中止されます。

ディスク SBF (セレクトバイファイル)

MD/CDを名前で選択します。

1 MD-Changer/CD-Changerモードにします**A**

CD Changer

2 SBFを開始します**A**

SBF DNPS

“SBF Disc” (MDプレイ中) / “SBF DNPS” (CDをプレイ中) と表示されるまで押し続けます。

ディスクチェンジャーに入っているMD/CDのディスクタイトル/ディスクネームとディスクナンバーが5秒間ずつ次々と表示されます。

3 プレイしたいディスクが表示されたら…**A**

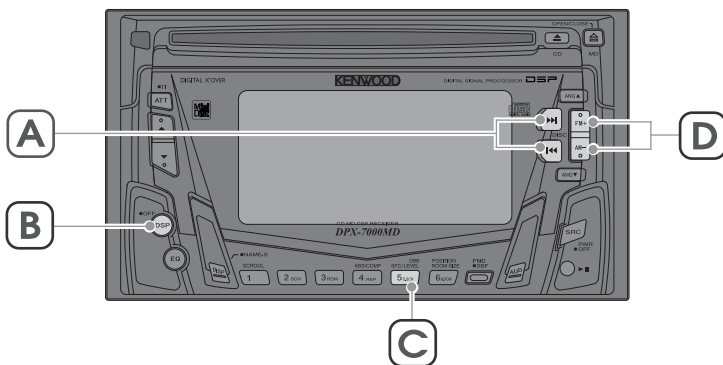
表示中のディスクのプレイをします。

または でディスク名を早送り/早戻しできます。

SBFを中止するときは…**A**

1秒以上押すと中止されます。

DSP Control



DSPシステム

DSP機能を使います

DSPシステムをオンにします



DSPシステムの設定や調整はDSPシステムがオンの状態で行います。

! DSPシステムのオンや設定・調整はALL OFFモードでは行えません。ALL OFFモード以外のモードで行ってください。

DSPシステムをオフにします



サウンドフィールドの選択

疑似音場効果 (SFC) を呼び出します。

1 DSP調整モードにします



DSPシステムがオフのときは2回押します。

2 サウンドフィールドを選びます



押すたびに次の順で切り替わります。

- Stadium スタジアム
- Concert Hall コンサートホール
- Live House ライブハウス
- Theater 劇場
- Disco ティスコ
- Club Disco クラブティスコ
- Jazz Club ジャズクラブ
- Studio スタジオ
- Listening リスニングルーム
- Church 教会
- Bypass バイパス

DSP（デジタルシグナルプロセッサ）の設定ができます。
また、設定内容を調整することもできます。

3 DSP調整モードを終了します



または、約10秒間以上、なにも操作しないでおきます。

NuanceとDBBの調整

DSPの効果のレベル（“Nuance ○○”）、リア側での低音ブースト（“DBB Step○○”）を調節できます。

1 DSP調整モードにします



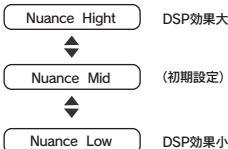
DSPシステムがオフのときは2回押します。

2 レベルを調整します

Nuanceを調整するときは



押すたびに次の順で切り替わります。



DBBを調整するときは



押すたびに次の順で切り替わります。

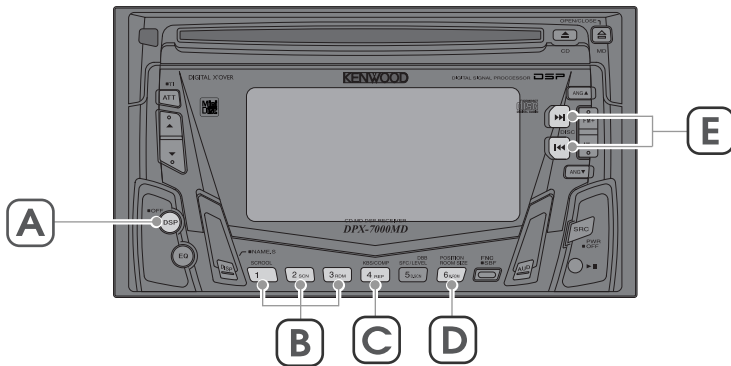


サウンドフィールドが“Bypass”（バイパス）の場合は、NuanceとDBBは調整できません。

3 DSP調整モードを終了します



または、約10秒間以上、なにも操作しないでおきます。



コンプレッションの調整

ダイナミックレンジを圧縮（コンプレッション）して、車内で小さな音を聴きやすくします。

1 DSP調整モードにします

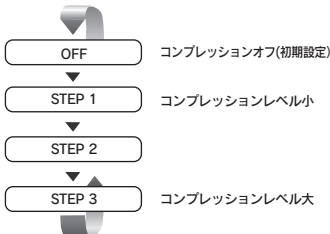


DSPシステムがオフのときは2回押します。

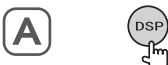
2 コンプレッションレベルを選びます



押すたびに次の順で切り替わります。



3 DSP調整モードを終了します



または、約10秒間以上、なにも操作しないでおきます。

ポジションの選択

聴く位置に合わせてDSPの効果を調節します。

1 DSP調整モードにします



DSPシステムがオフのときは2回押します。

2 ポジションを選びます



押すたびに次の順で切り替わります。



3 DSP調整モードを終了します



または、約10秒間以上、なにも操作しないでおきます。

● バランス/フェーダーは中央位置で使用してください。

ルームサイズの選択

室内サイズやフロント/リアスピーカーの距離に合わせてDSPを調節します。

1 DSP調整モードにします



DSPシステムがオフのときは2回押します。

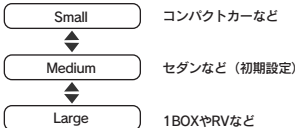
2 ポジション選択モードにします



3 ルームサイズを選びます



押すたびに次の順で切り替わります。



● ポジションが車室の中心 (ALL) の場合には、ルームサイズは選択できません。

4 DSP調整モードを終了します



または、約10秒間以上、なにも操作しないでおきます。

ユーザー設定のメモリー

ユーザー独自のDSP設定を3種類までメモリーしておくことができます。

1 DSPを設定します

SFC、Nuance レベル、DBBレベル、コンプレッションレベル、ポジション、ルームサイズを設定します。

2 メモリーするボタン(1~3のいずれか)を選びます



“DSP Memory○”表示が1回点減するまで押し続けます。

ユーザー設定の呼び出し

メモリーされているユーザー設定はワンタッチで呼び出せます。

1 DSP調整モードにします



2 メモリーボタン(1~3のいずれか)を選びます

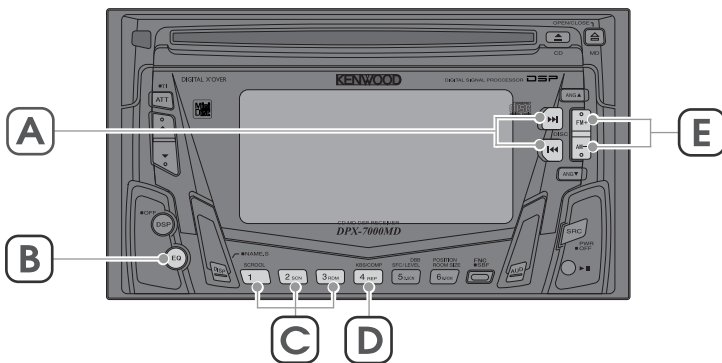


3 DSP調整モードを終了します



または、約10秒間以上、なにも操作しないでおきます。

Equalizer Control



イコライザーカーブの選択

イコライザーカーブを呼び出します。

1 イコライザー調整モードにします



2 イコライザーカーブを選択します



押すたびに次の順で切り替わります。



3 イコライザー調整モードを終了します



または、約10秒間以上、なにも操作しないでいきます。

イコライザーカーブの調整

車や音楽に合わせて、独自のイコライザーカーブに調節できます。

1 イコライザー調整モードにします



2 調節する周波数を選択します



3 レベルを調節します



4 イコライザー調整モードを終了します



または、約10秒間以上、なにも操作しないでいきます。

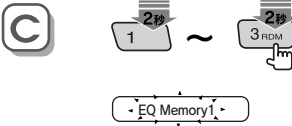
イコライザーカーブの設定やスペクトラムアナライザー表示の設定ができます。

ユーザー設定のメモリー

ユーザー独自のイコライザー設定を3種類までメモリーしておくことができます。

1 イコライザーカーブを設定します

2 メモリーするボタン(1~3のいずれか)を選びます



“EQ Memory○”表示が1回点滅するまで押し続けます。

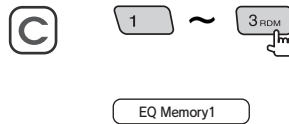
ユーザー設定の呼び出し

メモリーされているイコライザーカーブはワンタッチで呼び出せます。メモリーボタン(1~3のいずれか)を選びます。

1 イコライザー調整モードにします



2 メモリーボタン(1~3のいずれか)を選びます

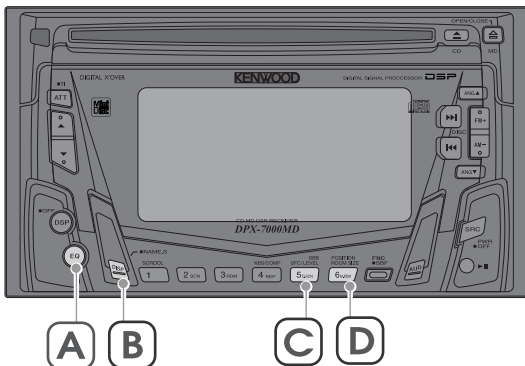


3 イコライザー調整モードを終了します



または、約10秒間以上、なにも操作しないで済みます。

Equalizer Control



アナライザーの切り替え

スペクトラムアナライザー表示を切り替えます。

1 イコライザー調整モードにします

A



EQ CTRL

2 アナライザーを選択します

B

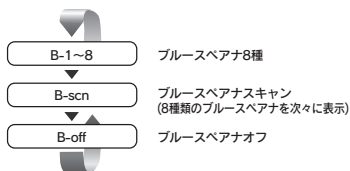


押すたびに次の順で切り替わります。

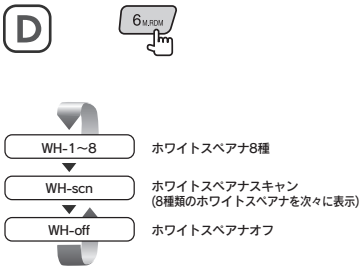


ブルースペアナだけを切り替えるには

C



ホワイトスベアナだけを切り替えるには



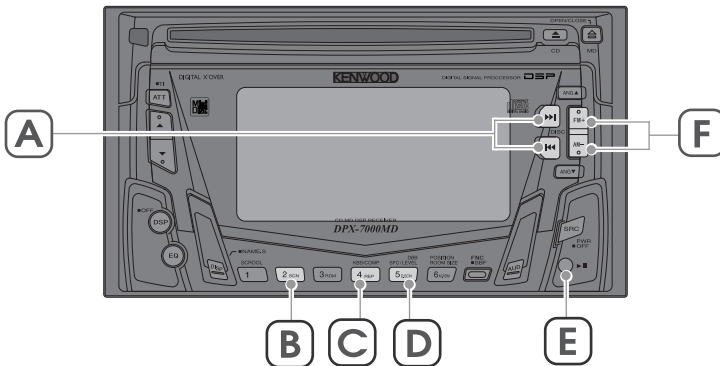
- ブルースベアナまたはホワイトスベアナを切り替えたときはアナライザーの種類表示は“B-○○/WH-○○”と表示されます

3 イコライザー調整モードを終了します



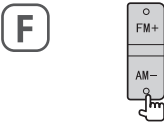
または、約10秒間以上、なにも操作しないでおきます。

External Disc Control



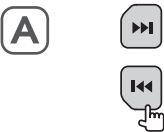
ディスクサーチ (チェンジャーのみ)

プレイするディスクを選択します。



トラックサーチ

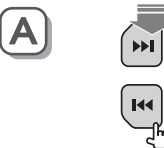
順に曲を選びます。



押すたびに、次の曲、または現在プレイ中の曲の先頭/前の曲へトラックサーチします。

マニュアルサーチ

現在プレイ中の曲を早送り/早戻しします。



ボタンを押している間だけ、早送り/早戻しされます。

ポーズ

現在プレイ中の曲を一時停止します。



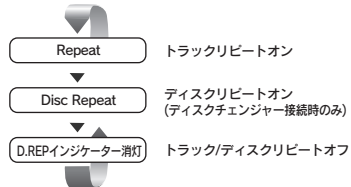
もう一度押すとプレイを再開します。

トラック/ディスクリピートプレイ

現在聴いている曲またはディスクを繰り返してプレイします。



押すたびに、次のようにオン/オフします。



別売品のCDチェンジャーやMDチェンジャーを接続しているときは、本機からコントロールできます。

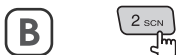
トラックスキャンプレイ

ディスク内の各曲の先頭部分を10秒間ずつプレイして曲を探すことができます。

1 トラックスキャンプレイを開始します



2 聴きたい曲のところまで…



その曲からプレイされます。
●" を押してもプレイされます。

- すべてのトラックがスキャンされると、トラックスキャンは、自動的に終了します。

ディスクスキャンプレイ (チェンジャーのみ)

チェンジャー内の各ディスクの先頭部分を10秒間ずつプレイしてディスクを探すことができます。

1 ディスクスキャンプレイを開始します



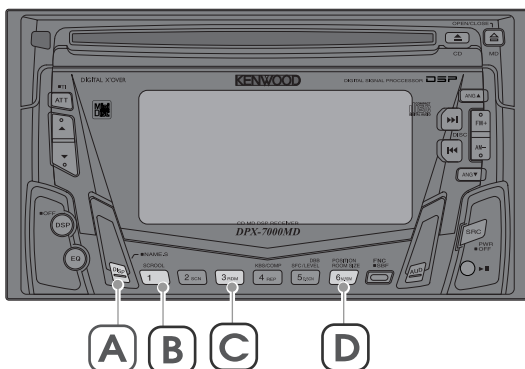
2 聴きたいディスクのところまで…



そのディスクからプレイします。
●" を押してもプレイされます。

- すべてのディスクがスキャンされると、ディスクスキャンプレイは自動的に終了します。

External Disc Control



トラックランダムプレイ

現在のディスク内の曲をランダムな順でプレイします。



押すたびに、トラックランダムプレイがオン/オフされます。

! [P] を押すと、次の曲の選択を開始します。

マガジンランダムプレイ (チェンジャーのみ)

マガジン内のディスクをランダムな順でプレイします。



押すたびに、マガジンランダムプレイがオン/オフされます。

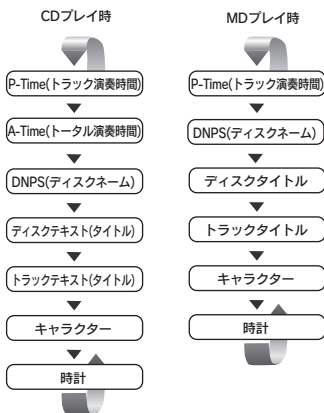
! [P] を押すと、次の曲の選択を開始します。

ディスプレイ表示切り替え

ディスプレイに表示される情報を切り替えます。



押すたびに次の順で切り替わります。



タイトル/テキストスクロール

ディスクタイトルやCDテキストをスクロール表示します。

1 ディスクタイトル/トラックタイトルにします

A

Disc Title

2 スクロール表示します

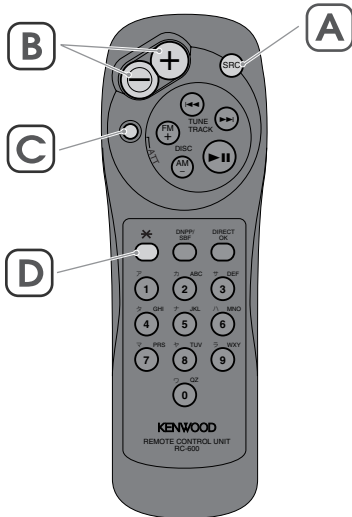
B

ディスクタイトル/CDテキスト表示が1回スクロールします。

- ファンクションセットのAT.SCRL項目がOffに設定されているときでも、この方法でスクロール表示することができます。

Remote Control

Common Operation



ソース切り替え



プレイするソースを切り替えます。

音量調節



音量を調節します。

アッテネーター



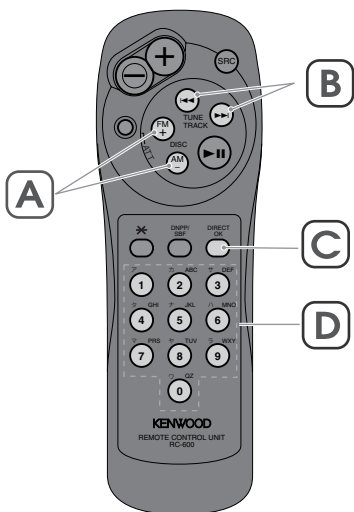
ワンタッチで音量を小さくします。もう一度押すと元の音量に戻ります。

パネル角度調整



パネルの角度を調整します。

Tuner Operation



バンド切り替え



受信するバンドを切り替えます。

選局



受信する放送局を選択します。

ダイレクトサーチ



このボタンに続けて、受信する放送局をテンキーで指定します。

例：76.1MHz(FM)の場合（3桁）

76①

例：1242kHz(AM)の場合（4桁）

①24②

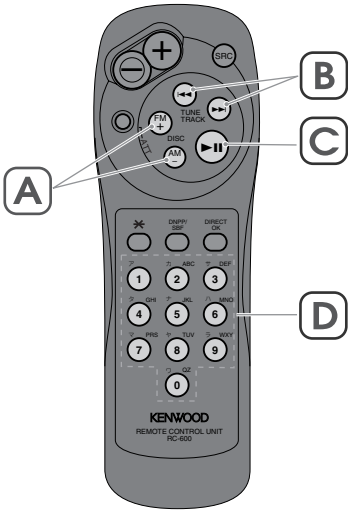
テンキー



メモリーされている放送局の番号を選択します。（①～⑥）

DIRECTキーに続けて、受信するFM/AM放送局の周波数の数字を指定します。

Disc Operation



ディスクサーチ

A



外部ディスクチェンジャー内でプレイするディスクを選択します。また、テンキーに続けて押すと、指定した番号のディスクをダイレクトサーチします。

トラックサーチ

B



プレイする曲を選択します。また、テンキーに続けて押すと、指定した番号のトラックをダイレクトサーチします。

プレイ/ポーズ

C



プレイを一時停止します。もう一度押すと、プレイを再開します。

テンキー

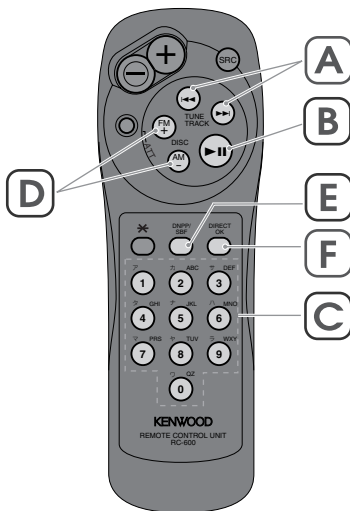
D



テンキーに続けてディスクサーチまたはトラックサーチキーを押すと、ダイレクトサーチできます。プレイ中のディスクには無いトラック番号を指定すると最後のトラックを演奏します。

Remote Control

SNPS/DNPS + SBF Operation



カーソル/名称早送り・早戻し



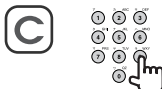
SNPS/DNPS中は、カーソルを文字を入力する位置に移動します。SBF中は、放送局名/ディスク名を早送り/早戻しします。

文字種切り替え(SNPS/DNPSのみ)



入力する文字の種類(英大文字/英小文字/カタカナ/数字・記号)を切り替えます。

テンキー(SNPS/DNPSのみ)



文字を入力します。
例: 「コ」を入力する場合
(カタカナ)
② (5回押す)
例: 「h」を入力する場合
(英小文字)
④ (2回押す)

文字選択/AM・FM表示切り替え



SNPS/DNPS中は、文字を順に切り替えます。
チューナー-SBF中はFMでFM1/2バンド、AMでAM1/2バンドにメモリーされている放送局名表示に切り替えます。

SBFモード切り替え(SBFのみ)



SBFモードになります。一度押すとSBFモードになり、もう一度押すとSBFモードを解除します。

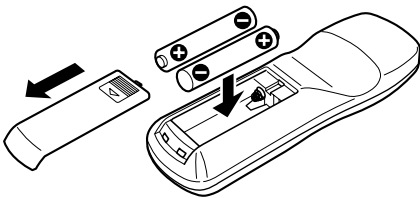
終了



SNPS/DNPSモードで押すと、登録完了となります。
SBFモードで押すと、選択した放送局やディスクを呼び出します。

電池の入れかた

付属の電池（単四型2本）を+/−の向きを正しく合わせて入れてください。



リモコンは、ブレーキ操作などによって動かない場所においてください。ペダルの下などに落ちると、運転操作に支障をきたして危険です。



- 電池の向きは正しく合わせてください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池を交換するときは、2本同時に交換してください。

音が出ない/音が小さい

- 音量が最小になっている。
- アッテネーターがオンになっている。
- ヒューズが切れている。
- フェダー、バランスが片方に寄っている。
- 入出力ケーブル、電源コード、パワーコントロールコードなどの接続が間違っている。

- 音量を適度に上げてください。
- アッテネーターをオフにしてください。
- コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。
- フェダーやバランスを正しく調整してください。
- 「接続」(54ページ)を見て正しく接続しなおしてください。

操作スイッチを押しても動作しない

内蔵のマイコンが誤動作している。

リセットボタンを押してください (8ページ)

音質が悪い (音がひずむ)

- 音量が大きすぎる。
- スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。
- スピーカーの配線が間違っている。

- 音量を適正に調整してください。
- スピーカーの配線を確認してください。
- スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカーと正しく接続してください。

チューナーの感度が悪い

- 自動車のアンテナが伸びていない。
- アンテナコントロール電源が接続されていない。
- アンテナ入力が確実に接続されていない。

- アンテナを十分に伸ばしてください。
- 「接続」(54ページ)を見て正しく接続してください。
- アンテナ入力を確実に接続してください。

SRCボタンを押しても、CD-Changer/MD-Changerに切り替わらない

- それぞれのソースを聴くのに必要な別売品のユニットが接続されていない。
- 別売品ユニットを接続後にリセットボタンが押されていない。

- 接続されていないソースには切り替わりません。
- リセットボタンを押してください (8ページ)

オーディオコントロールのN-F項目が表示されない

ファンクションセットのPreout項目がRearに設定されている。

ファンクションセットのPreout項目をN-Fに設定します。(16ページ)

イコライザーを調整しても効果が現れない。

1つの周波数だけを調整している。

調整した周波数の周囲の周波数も調整してください。

MD/CD/External Disc mode

SRCボタンを押してもディスク (MD/CD) に切り替わらない

ディスクがセットされていない。

プレイするディスクをセットしてください。

ディスク (MD/CD) が入らない

●すでにディスクが入っている。

MD▲/CD▲を押して、入っているディスクを取り出してから入れてください。

MDが引き込まれない

MDを入れる方向が間違っている、または裏返しになっている。

正しい方向で入れてください。

MDが引き込まれても、すぐにイジェクトされる

MDに何も録音されていない。

録音/記録されたMDを入れてください。

ディスク (MD/CD) のプレイ中に振動で音飛びする

●取り付け角度が30°を超えている。
●取り付けが不安定になっている。

●30°以下になるように取り付けしなおしてください。
●しっかりと取り付けしなおしてください。なお、駐停車中でも音飛びする場合や同じ場所で音飛びする場合はディスクに原因があります。

CDをプレイできない

●CDが裏返しである。
●CDが異常に汚れている。
●結露している。

●レーベル面を上にして入れなおしてください。
●「CDの取り扱い」を見て、CDをクリーニングしてください。
●しばらく放置してから使用してください。(9ページ)

選曲操作をしても、目的の曲に切り替わらない

トラックランダムプレイがオンになっている。

トラックランダムプレイをオフにしてください。

同じ曲を繰り返しプレイするだけで、次の曲に進まない

トラックリピートがオンになっている。

トラックリピートをオフにしてください。

曲の先頭しかプレイされない

トラックスキッププレイがオンになっている。

トラックスキッププレイをオフにしてください。

チェンジャー内の同じディスクだけしかプレイされない

ディスクリピートプレイがオンになっている。

ディスクリピートプレイをオフにしてください。

曲が順にプレイされない

トラックランダムプレイがオンになっている。

トラックランダムプレイをオフにしてください。

ディスクが順に演奏されない

マガジンランダムプレイがオンになっている。

マガジンランダムプレイをオフにしてください。

CDがイジェクトできない

ディスクがイジェクト途中で止まっている。

CD▲ボタンをCDがイジェクトするまで押し続けてください。

文字がスクロールされない

- 情報文字数が12文字以下のため
- ディスクネームを表示しているため

- 表示部に情報文字がすべて表示されている場合はスクロールされません。
- スクロール表示されるのはディスク/トラックタイトルとディスク/トラックテキストです。

MDのタイトルが正しく表示されない

タイトルに漢字が記録されている

漢字は表示できません。

Name Set / SBF

DNPSができない

本機またはKMD-C30でMDをプレイしている。

本機およびKMD-C30ではMDにDNPSはできません。

DNPS、SBFができない

ディスクスキャン、マガジンランダムがオンになっている

ディスクスキャン、マガジンランダムをオフにしてください。

SNPS表示にしても“NO NAME”と表示される

ステーションネームが登録されていない。

ステーションネームを登録してください。

タイトル表示に切り替えても“NO TITLE”と表示される

ディスクタイトルやトラックタイトル、ディスクテキストが記録されていない。

ディスクタイトルやトラックタイトル、ディスクテキストが記録されたディスクをプレイしてください。

登録したはずのステーションネームが消えた

- 31局目のステーションネームを登録した。
- バッテリーから外したため。

- 登録できるステーションネームは30局分です。
- 本機をバッテリーから外すとステーションネームは消去されます。

登録したはずのディスクネームが消えた

- 51枚目のディスクネームを登録した。
- バッテリーから外したため。

- 登録できるディスクネームは本機のCDプレーヤーとCD/MDチェンジャーを合わせて50枚分です。
- 本機をバッテリーから外すとディスクネームは消去されます。

ディスク名前がまちがって表示される

総録音時間とトラック数が同じディスクがすでに登録されている。

識別する方法はありません。

SBFで名前が表示されない

ステーションネームやディスクネームが登録されていない。

ステーションネームやディスクネームを登録してください。

“No Disc”、“No Access” と表示される

●プレイヤーやマガジンにディスクが入っていない。
●プレイヤーやマガジンに入っているディスクを一度もプレイしていない。

●ディスクを入れてください。

●ディスクスキャンを行うなどして、ディスクをプレイしてください。

DSP Control

DSP効果が得られない

●2スピーカーシステムになっている。
●フロントスピーカーとリアスピーカー、あるいは右スピーカーと左スピーカーが逆に接続されている。
●スピーカーの極性が逆に接続されている。
●フェダーまたはバランスの調整が片側に片寄っている。

●「接続」(54ページ)を見て正しく接続してください。

●フェダーやバランスを正しく調整してください。

Nuance、DBBが調整できない

●コンプレッション調整モードまたはポジション選択モードになっている。
●サウンドフィールドが“Bypass”に設定されている。

●“5” ボタンを押してサウンドフィールド選択モードにしてください。

●サウンドフィールドを“Bypass”以外に設定してください。

ルームサイズの調整ができない

ポジションが“ALL”に設定されている。

ポジションを“ALL”以外に設定してください。

Function Control

BRIGHT項目が表示されない

- 車両のライトスイッチがオフになっている。
- イルミネーションコードが接続されていない。

- 車両のライトスイッチをオンにしたのち、再度ファンクションセットモードをオンにしてください。
- 「接続」(54ページ)を見て正しく接続してください。

HPF-F、HPF-R、HPF Slope、Time-Alg F、Time-Alg.R項目が表示されない

D.X'over設定項目がOffに設定されている。

D.X'over設定項目をOnに設定してください。

LPF、LPF Slope、T-Alg NF項目が表示されない

- D.X'over項目がOffに設定されている。
- Preout項目がRearに設定されている。

D.X'over項目をOn、Preout項目をN-Fに設定してください。

TUNER/MD/CD/Chnger ModeのAMP Cont項目が表示されない。

ALL OFF ModeのAMP Cont項目がOffに設定されている。

ALL OFF ModeのAMP Cont項目をOnに設定してください。

SCRL項目が表示されない

- 使用しているディスクチェンジャーに“O-N”スイッチがない。
- 使用しているディスクチェンジャーの“O-N”スイッチを“O”にしている。

- “O-N”スイッチがあるディスクチェンジャーをご使用ください。
- ディスクチェンジャーの“O-N”スイッチを“N”にしてください。

ノンフェーダー出力にハイパスフィルターがかかる。

リア出力にハイパスフィルターをかけていた。

電源を一度オフにしてからオンにしてください。

セキュリティコード項目が表示されない。

すでにセキュリティコードを設定してある。

セキュリティコードを一度設定すると変更はできません。このため、ファンクションセット項目から削除されます。

セキュリティコードを忘れた

セキュリティコードを調べることはできません。

ケンウッドサービスセンターにご相談ください。

BEEP

(ビーブ)

ボタンを押したときに、押されたことが確認できるように“ビッ”音がする機能です。押してすぐ離れたときには“ビッ”と鳴り、1秒以上または2秒以上押して機能をオンにしたときには“ビッビッ”と鳴ります。うるさく感じたときには“Off”に設定することにより消すことができます。

HPF-F/HPF-R

(フロントハイパスフィルター/リアハイパスフィルター)

サブウーファーを追加するとき、この機能を使って高・中音用のスピーカーから低音を削除することができます。

設定した周波数より低い音域をカットします。“OFF”に設定すると、この機能を無効にすることができます。

HPF Slope

(ハイパスフィルタースロープ設定)

HPF-F/HPF-Rで設定した帯域の音をカットするときの減衰量を設定する機能です。

1オクターブあたりの減衰量をdBで設定します。スピーカーに応じたスロープ設定により、特に超低域をカットすることにより、音にならない不要な振動を抑制できます。

LPF

(ローパスフィルター)

ノンフェーダー出力から高音を削除することができます。ノンフェーダー出力をサブウーファー用として使用するときに、この機能で低域のみの音にすることができます。

設定した周波数より低い音域をカットします。これにより効率の良い低域再生が可能となります。“OFF”に設定すると、この機能を無効にすることができます。

LPF Slope

(ローパスフィルタースロープ設定)

LPFで設定した帯域の音をカットするときの減衰量を設定する機能です。

1オクターブあたりの減衰量をdBで設定します。

T-Alg F/T-Alg R/T-Alg NF

(フロントタイムアライメント/リアタイムアライメント/ノンフェーダータイムアライメント)

フロント、リア、ノンフェーダーから出力される音を遅延させることにより、スピーカーの位置を擬似的にずらすことができる機能です。それぞれ細かい設定が可能のため、車種やスピーカー取り付け位置にとらわれずに最適な効果が得られます。

Time-Alg Fは音像が前方奥に引き込み、広がり感が得られます。

Time-Alg RやTime-Alg NFは前方定位や低音増強、臨場間の向上などの効果が得られ、リアスピーカー/サブウーファーの音集性が向上します。

AMP Cont

(アンプコントロール)

EXT.CONT.コードで接続した別売品のアンプの、低音域の増幅量をこの機能でコントロールできます。変更される値や変更時のアンプ側の動作はアンプにより異なります。詳しくは接続しているパワーアンプに付属の取扱説明書をご覧ください。

AT. Scroll

(オートスクロール)

ディスクタイトルやCDテキストが長い場合ディスプレイ部分では表示しきれないときはスクロールして表示されます。

この機能を“On”に設定しておく、このスクロール表示を繰り返し行い、“Off”に設定しておく、表示が変わったときだけ1回スクロール表示することができます。設定はCDプレイ時とMDプレイ時とで別々に設定できます。

Seek

(シーク)

放送局の探し方を設定することができます。

“Auto”に設定しているときに◀◀/▶▶ボタンを押すと放送局を自動的に見付け出し、“Manual”に設定しておくとも1ステップずつ周波数を変えることができます。

Preout

(プリアウト)

リアプリアウトを、オーディオコントロールのフェーダー調整に影響されない出力（ノンフェーダー出力“N-F”）に切り替えることができます。フェーダー調整に影響されないのでサブウーファー用の出力に活用できます。

BRIGHT

車両のライトスイッチをオンにしたときの本機の表示部の明るさを設定しておくことができる機能です。

D.X'over

ファンクション項目のHPF-F、HPF-R、HPF Slope、LPF、LPF Slope、Time-Alg F、Time-Alg R、およびT-Alg NFの調整内容を有効（Onに設定）にするか、無効（Offに設定）にするかの設定ができます。

これらの処理をデジタル処理することによりアナログとは違い、周波数特性のバラツキや音質劣化を解消することができ、24dB/Oct.という急傾斜の減衰スロープを実現しています。

オープニング画面表示

電源をオンにしたときの、“DPX”表示の有無を設定できます。

セキュリティコード

セキュリティコードを設定しておく、本機の電源コードを外したときやリセットボタンを押したときなどの、次に初めて使うときは、設定したセキュリティコードを入力しないと電源がオンできないようになります。すなわち、本機を車両から外したときは、セキュリティコードの入力が必要になるため、盗難防止の手助けとなります。

MONO

(モノラル)

この機能でFMステレオ放送をモノラル音声にすることができます。

受信状態の悪いFM放送局を聴いているときに、音声をモノラルにすると雑音が軽減されて聞き易くなる場合があります。

ディスクチェンジャー

外部接続された別売品の、CDチェンジャー（KDC-C310、KDC-C306など）、MDチェンジャー（KMD-C80、KMD-C30）です。

●以下の表示でシステムの状態をお知らせします。

EJECT : ●ディスクマガジンがセットされていない。
●ディスクマガジンが完全に入っていない。
など

No Disc : ディスクマガジンにディスクが1枚も入っていない。

Aux Mode : 別売品のKCA-S200/S210AのCH1またはCH2端子にディスクチェンジャーが接続されていない。

Error 04 : ●ディスクが異常に汚れている。
●ディスクが裏返しになっている。
●ディスクに傷が多く付いている。
●ディスクが入っていない。
●トレイが入っていない。
→ほかのディスクを使用してください。

Error 77 : 何らかの原因で正常に動作していない。
→本機のリセットボタンを押してください。"Error 77"の表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

Mecha Error : ●ディスクマガジンに異常がある。
→ディスクマガジンを取り出して、ディスクマガジン内を確認してください。
●何らかの原因で正常に動作していない。
→イジェクトボタンを押してください。イジェクトボタンを押しても表示が消えないときは本機のリセットボタンを押してください。なお、表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

H-HOLD : 本機のMDプレーヤーやディスクチェンジャーの内部温度が 60°C以上になると保護回路が動き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。
→本機またはディスクチェンジャーの取り付け場所の温度を下げてから使用してください。

No Name : ●ステーションネームプリセットされていない放送局を受信中に、放送局名表示にしようとした。
●ディスクネームプリセットされていないディスクを演奏中に、ディスク名表示にしようとした。


No Title : タイトルが記録されていないMDを演奏中に、ディスクタイトルやトラックタイトル表示にしようとした。

No Text : CDテキストが記録されていないCDを演奏中に、ディスクタイトルやトラックタイトル表示にしようとした。

No Track : 演奏しようとしたMDに何も録音されていない。
→ほかのディスクを使用してください。

Blank Disc : 演奏しようとしたMDにデータが1つも記録されていない。
→ほかのディスクを使用してください。

Error 12 : 演奏しようとしたMDがデータ用MDです。
→データ用MDを取り出して、音楽用MDを入れてください。

 : CDプレーヤーが正常に動作していない。
→CDを取り出してから、CDを入れなおしてください。

取り付け時のご注意

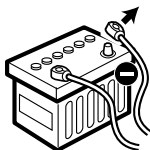
警告



大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V⊖アース車専用です。



実施



配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。ショート事故による感電やケガの原因となります。



実施



本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



禁止



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取るとは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



禁止



本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故やケガの原因となります。



実施



本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります。



禁止

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



禁止



車両電源配線用コード以外で延長しないでください。

コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



実施



本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



実施



車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。

コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



注意

本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。



注意



車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。



実施

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

接続



最初にエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

実施

1. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
2. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
3. 電源ハーネスをアースコード（黒）、バッテリー電源コード（黄）、アクセサリ電源コード（赤）の順に接続します。
4. 電源ハーネスのコネクタをDPX-7000MDに接続します。
5. 取り付け終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
6. 本機のリセットボタンを押します。

車両アンテナ端子 アンテナ入力



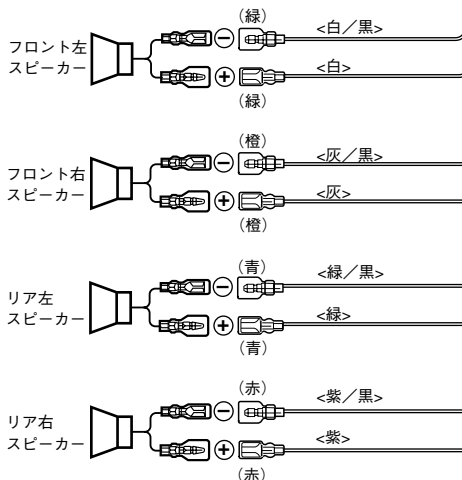
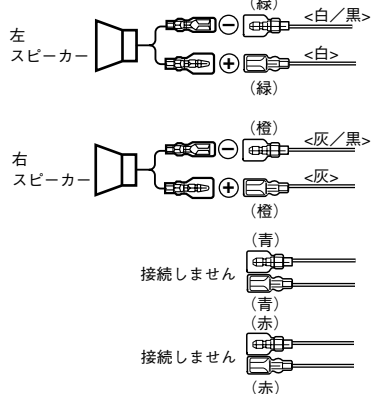
ヒューズ (10A)

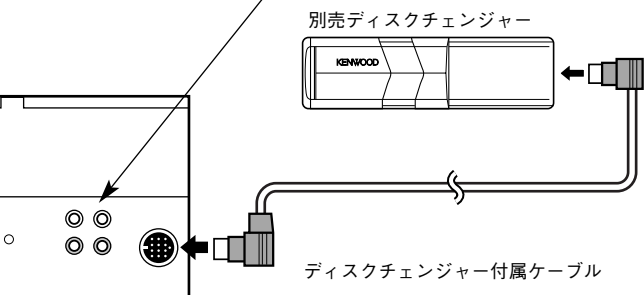
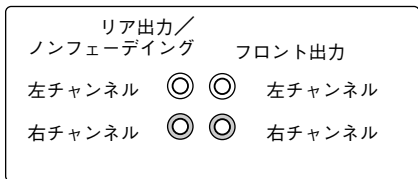


注意

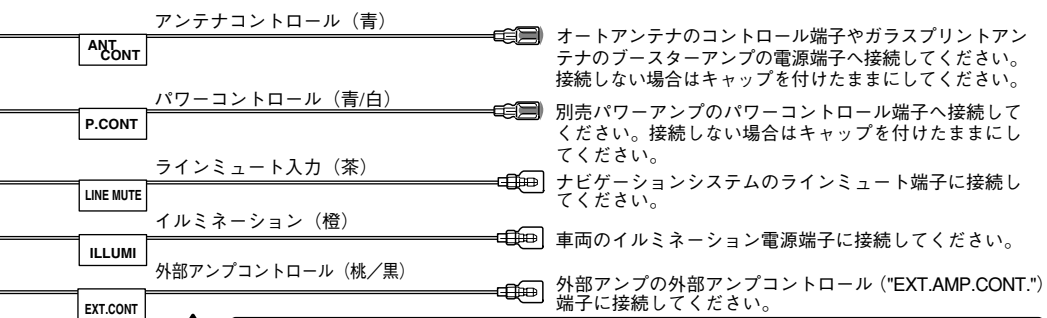
ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、ヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因になります。

2スピーカー時のスピーカー接続方法

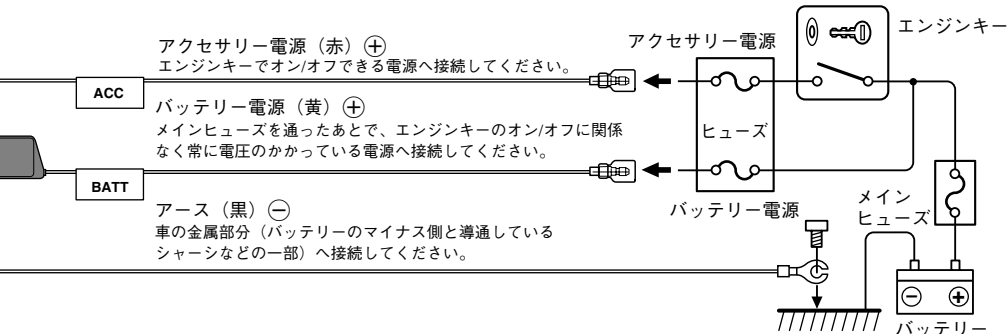




※ KDC-C310、KDC-C306、KDC-C210、KDC-C206、KMD-C30を接続する場合は、ディスクチェンジャーのO-Nスイッチを“N”に設定してください。
 ※ MD6、MD66、C705i、C705srを接続する場合はCA-KD20が必要です。



注意 このコードはアンプの音質などを本機からコントロールするためのものです。パワーアンプの電源のオン/オフをコントロールするコードは上記“パワーコントロール (青/白)”です。



取り付け

付属のネジ (M5×6mm) 6本を使用して車両ブラケットなどに取り付けます。



注意

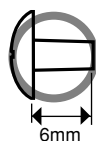
●取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。

付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊したり、発煙することがあります。

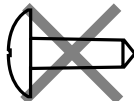
また、短いネジを使用すると、本機が取付ブラケットなどから外れることがあります。

●取り付け前にCDやMDで動作確認をする場合は、本機を水平な状態にしてローディング/イジェクトを行ってください。



付属取付ネジ



その他のネジ

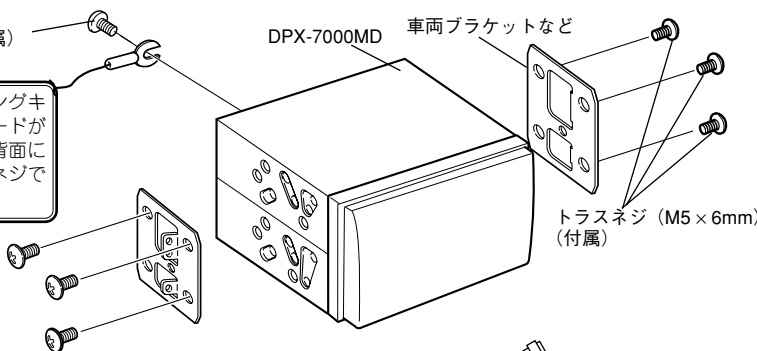


付属ネジ一覧

	トラスネジ (M5×6mm)	6
	セムスネジ (M4×8mm)	1

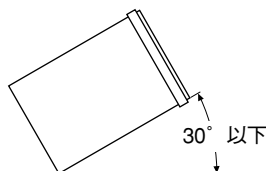
セムスネジ
(M4×8mm) (付属)

別売のワイヤリングキットにアースコードがある場合は本機背面に付属のバインドネジで固定します。



注意

本機の取付角度は30°以下になるように取り付けてください。30°以上の角度で取り付けると音飛びの原因になります。



別売のワイヤリングキットや取付キットを使用することにより、車にベストフィットした取り付けができます。キットは取り付けの車種に応じて用意されています。くわしくはカタログをご覧ください。



保証とアフターサービス

保証について

●保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日より**1年**です。

修理を依頼されるときは

「Help Operation」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にお問い合わせください。（別紙“ケンウッド全国サービス網”をご参照ください。）

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

●保証期間中は....

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後は....

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により**有料**にて修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。
（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

●持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。
（本機および一緒に持ち込まれるユニット内のディスクやテープはあらかじめ取り出してください。）
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

●修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。）

- 技術料：故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代：修理に使用した部品代です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

仕様一覧

FMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)	76.0 MHz~90.0 MHz (100 kHz)
実用感度 (S/N:30 dB)	9.3 dBf (0.8 μ V/75 Ω)
S/N 50 dB感度	15.2 dBf (1.6 μ V/75 Ω)
周波数特性 (\pm 3.0 dB)	30 Hz~15 kHz
S/N比	75 dB (MONO)
選択度 (\pm 400 kHz)	\geq 80 dB以上
ステレオセパレーション	40 dB (1 kHz)

AMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)	522 kHz~1629 kHz (9 kHz)
感度	28 dB μ (25 μ V)

MDプレイヤー部

レーザー	GaAlAs(ダブルヘテロダイオード, $\lambda=780$ nm)
デジタルフィルター	8倍オーバーサンプリング
D/Aコンバーター	1 Bit
回転数	400~900 rpm (線速度一定)
ワウ & フラッター	測定限界以下
周波数特性	20 Hz~20 kHz (\pm 1 dB)
高調波歪率	0.01 % (1 kHz)
S/N比	90 dB (1 kHz)
ダイナミックレンジ	90 dB
ステレオセパレーション	80 dB

CDプレイヤー部

レーザー	GaAlAs(ダブルヘテロダイオード, $\lambda=780$ nm)
デジタルフィルター	8倍オーバーサンプリング
D/Aコンバーター	1 Bit
回転数	500~200 rpm (線速度一定)
ワウ & フラッター	測定限界以下
周波数特性	10 Hz~20 kHz (\pm 1 dB)
高調波歪率	0.01 % (1 kHz)
S/N比	93 dB (1 kHz)
ダイナミックレンジ	93 dB
ステレオセパレーション	85 dB

オーディオ部

最大出力	40 W \times 4
定格出力	26 W \times 4 (4 Ω , 1kHz, 10%THD)
プリアウトレベル	1500 mV/10 k Ω
プリアウトインピーダンス	600 Ω 以下

DSP/イコライザー部

A/Dコンバーター & D/Aコンバーター	3次 $\Delta\Sigma$ 方式20bit128倍オーバーサンプリング
イコライザー中心周波数	60/120/250/500/1k/2k/4k/8k/16k Hz
可変範囲	\pm 12 dB

電源部

電源電圧	14.4 V (11~16 V)
最大消費電流	10.0 A

寸法・質量

埋込寸法 (W \times H \times D)	178 \times 100 \times 155 mm
質量 (重さ)	2.8 kg

付属部品

電源ハーネス	1本
トラスネジ (M5 \times 6mm)	6本
セムスネジ (M4 \times 8mm)	1本
リモコン	1個

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

この製品は、ドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

- 商品、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。
お客様相談室（東京）電話(03)3477-5335 〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-17-9
（大阪）電話(06)6357-5335 〒534-0024 大阪市都島区東野田町1-20-5（大阪京橋第一生命ビル）
（土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます。）
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。